

神戸市外国語大学 学術情報リポジトリ

入門・初級者のためのスペイン語規則動詞の見分け方

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2011-11-30 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 宮本, 正美 メールアドレス: 所属:
URL	https://kobe-cufs.repo.nii.ac.jp/records/761

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



『入門・初級者のためのスペイン語 規則動詞の見分け方』

宮 本 正 美

1 はじめに

入門・初級者にとって、スペイン語動詞の活用形を習得するのは容易ではない。高頻度動詞の半数近くが不規則動詞であることもその困難さを増しているであろう。もし規則動詞か不規則動詞かを簡単に見分ける方法があれば、活用形習得に役立つに違いない。宮本（2010）では語根母音変化動詞であるか否かを語末形から見極める方法を提案した。本稿では、規則動詞に特有の語末形は何かを調査してみる。宮本（2010：8）で述べたように、活用形の語幹が不定詞の語幹と同じ動詞を「規則動詞」²とする。

2 規則動詞の語末形の調査法

語根母音変化動詞の語末形の調査は、動詞を第1群から第3群に分け、さらに、それぞれの語根母音の変化ごとに行なった。本稿での規則活用の語末形の調査は、まず、不定詞の語末3文字、4文字、5文字を取り出して、それぞれの「規則動詞率」と「異なり動詞頻度数」からなる一種の「シソーラス風リスト」を作成し、その後、このリストを利用して規則動詞率の極めて高い語末形を提示する。

1 高頻度100動詞のうち、44個が不規則動詞である：宮本（2010：脚注5）。

2 宮本（2010：8-9）で述べたように、*buscar*のような「正書法変化動詞」、*tañer*のような「i音脱落動詞」と*caer*のような「y音化動詞」は「規則動詞」に含める。

2.1 語末形シソーラス風リストの作成：

調査対象は、宮本（2010：13）同様に、桑名・出口他（1990）収録の8,291個の動詞から作成した fukisoku_09 と kisoku_09 の 2 つのファイル³である：

katsuyo/fukisoku_09:

abastecer 34 r t

abestiar 83 r

ablandecer 34 t

.....（中略）.....

yuxtaponer 41 t

zaherir 27 t

zambuir 49 i

katsuyo/kisoku_09:

abacorar t

abajar t

abalarzar 97 r t

.....（中略）.....

zurear i

zurrar t r

zurriagar 103 t

以下に「シソーラス風リスト」作成の概略を述べる：

(1) 規則動詞，不規則動詞の語末3文字を取り出す：

```
awk 'x[substr($1, length($1)-2, 3)]++}END{for(w in x){print x[w], w}}'
```

```
katsuyo/kisoku_09 | sort -k2 > temp/xx24k3
```

3 ファイル中の34, 83などの番号は桑名・出口他（1990）の活用表番号，rは再帰動詞を，tは他動詞を，iは自動詞を意味する。fukisoku_09が1,283動詞，kisoku_09が7,008動詞から成る。

```
awk 'x[substr($1, length($1)-2, 3)]++}END{for(w in x){print x[w], w}}'
```

katsuyo/fukisoku_09|sort -k2 > temp/xx24fk3

temp/xx24k3:

92 bar
10 ber
11 bir
483 car
8 cer
..... (以下略)

temp/xx24fk3:

3 "ir
17 aer
7 bar
4 ber
15 bir
..... (以下略)

同様に、4文字、5文字も取り出す。

- (2) 異なり動詞頻度数が指定数⁴以上である動詞の語末3文字の規則動詞率リストを作る：

```
awk -f prog/y902255 2 temp/xx24fk3 temp/xx24k3|sort -k3nr|awk  
'{printf("%10s%10s%10s%10s\n", $1, $2, $3, $4)}'|awk '{if (($1 >=S1)  
&& ($3 > 0))print}' S1=$1|awk '{printf("%10s%10s\n", $3, $4)}'|sort
```

4 最後に、これらの処理をシェルスクリプトにまとめて、コマンド行から異なり動詞頻度数を任意に指定できるようにしたい。ここでは異なり動詞頻度数5以上で処理している。

5 「頻度数 単語列」形式の2つのファイルをマージして、比率を求めるAWKのスクリプト・ファイル。本稿末のAppendix1に掲載。

```
-k2 > temp/xx24_3a
```

```
temp/xx24_3a:
```

```
92.9293 bar
```

```
71.4286 ber
```

```
42.3077 bir
```

```
97.7733 car
```

```
3.50877 cer
```

```
..... (以下略) .....
```

同様に、語末 4 文字、5 文字の規則動詞率リストを作る。

(3) 規則動詞率の付いた「3 文字 4 文字」リストを作る：

```
cat temp/xx24_4a|awk '{printf("%10s%10s%10s\n", $3, substr($4, length($4)-2, 3), $4)}' |sort -k2 > temp/xx24_34a
```

```
temp/xx24_34a:
```

```
100 bar abar
```

```
100 bar ebar
```

```
100 bar ibar
```

```
100 bar mbar
```

```
75 bar obar
```

```
87.5 bar rbar
```

```
100 bar ubar
```

```
100 ber rber
```

```
38.0952 bir ibir
```

```
..... (以下略) .....
```

同様に、規則動詞率の付いた「3 文字 4 文字 5 文字」リストを作る。

(4) 「3文字」 + 「3文字 4文字」のシソーラス風語末形リストを作る：

```
awk -f prog/u808296 1 temp/xx24_34a temp/xx24_3a > temp/xx24_3a_34a
```

temp/xx24_3a_34a:

92.9293 bar

100 bar abar

100 bar ebar

100 bar ibar

100 bar mbar

75 bar obar

87.5 bar rbar

100 bar ubar

71.4286 ber

100 ber rber

42.3077 bir

38.0952 bir ibir

97.7733 car

..... (以下略)

さらに、「3文字」 + 「3文字 4文字」 + 「3文字 4文字 5文字」のシソーラス風語末形リスト (temp/xx24_345a) を作る。

(5) 規則動詞率を小数点以下切り捨て、それぞれの語末形には頻度数を付け、さらに——と改行を入れて見やすくしたシソーラス風語末形リストを作成する：

```
awk -f prog/u80829 1 temp/xx24_345a temp/xx24_3a_34a | awk -f prog/
```

6 「数字 単語列」のファイルをシソーラス風リスト化する AWK のスクリプト・ファイル。本稿末の Appendix2 に掲載。

```
z009227|perl prog/z00923.pl temp/xx24k3 temp/xx24k4 temp/xx24k5 >  
temp/xx24_345s__
```

2.2 語末形ソーラス風リスト：

以上の処理をまとめたシェルスクリプト（z10924.sh）で、異なり動詞頻度を5以上として出力すると、次の3文字・4文字・5文字の語末形ソーラス風リストを得る：

```
92 bar 92  
  
100 bar 92 abar 21  
100 bar 92 abar 21 rabar 8  
  
100 bar 92 ebar 6  
  
100 bar 92 ibar 9  
100 bar 92 ibar 9 ribar 5  
  
100 bar 92 mbar 20  
100 bar 92 mbar 20 umbar 10  
  
75 bar 92 obar 15  
  
87 bar 92 rbar 14  
100 bar 92 rbar 14 arbar 5
```

7 出力ファイルに——と改行を入れる AWK のスクリプト・ファイル。

8 それぞれの語末形に頻度を付け、規則動詞率の小数点以下を切り下げて表示する Perl のスクリプト・ファイル。

100 bar 92 rbar 14 urbar 5

100 bar 92 ubar 5

71 ber 10

100 ber 10 rber 5

100 ber 10 rber 5 orber 5

42 bir 11

38 bir 11 ibir 8

100 bir 11 ibir 8 hibir 5

.....

..... (中略)

.....

97 zar 582

100 zar 582 azar 50

100 zar 582 azar 50 lazar 10

100 zar 582 azar 50 razar 13

86 zar 582 ezar 25

100 zar 582 ezar 25 rezar 10

99 zar 582 izar 419

100 zar 582 izar 419 cizar 5
100 zar 582 izar 419 dizar 11
100 zar 582 izar 419 lizar 141
100 zar 582 izar 419 mizar 13
100 zar 582 izar 419 nizar 70
100 zar 582 izar 419 rizar 94
100 zar 582 izar 419 tizar 63
100 zar 582 izar 419 uizar 5

100 zar 582 lzar 9
100 zar 582 lzar 9 alzar 7

83 zar 582 nzar 25
100 zar 582 nzar 25 anzar 12

100 zar 582 ozar 22
100 zar 582 ozar 22 bozar 6
100 zar 582 ozar 22 rozar 8
69 zar 582 rzar 9
100 zar 582 rzar 9 arzar 5

100 zar 582 uzar 23
100 zar 582 uzar 23 puzar 5
100 zar 582 uzar 23 ruzar 7

97 ⁹ ~ar 100

9 ~ar と次の~ir のグループは、ñ の文字を n~ の複文字で処理しているので、ñ の文字を含ス

97 ~ar 100 n~ar 100
100 ~ar 100 n~ar 100 an~ar 34
100 ~ar 100 n~ar 100 en~ar 19
100 ~ar 100 n~ar 100 in~ar 14
78 ~ar 100 n~ar 100 on~ar 11
100 ~ar 100 n~ar 100 un~ar 22

52 ~ir 11

52 ~ir 11 n~ir 11
100 ~ir 11 n~ir 11 un~ir 5

左端の数字は各行の一番右の語末形の規則動詞率パーセント数。例えば、最初の行の92は語末形 **bar** で終わる動詞の規則動詞率が92%であることを示す。2行目の100は語末形 **abar** で終わる動詞の規則動詞率が100%であることを示す。各語末形の右の数字はその語末形で終わる動詞の異なり語数。例えば、1行目、2行目の **bar** の右の92は語末形 **bar** で終わる動詞の異なり語数が92個であることを示す。2行目、3行目の **abar** の右の21は語末形 **abar** で終わる動詞の異なり語数が21個であることを示す。3行目の **rabar** の右の8は語末形 **rabar** で終わる動詞の異なり語数が8個であることを示す。¹⁰

3. 規則動詞の語末形

2.1で作成した「シソーラス風リスト」を利用して規則動詞率の高い語末

ゝむ語末形は1文字少なくなつて表示されている。

10 ちなみに、**rabar**で終わる動詞は、桑名・出口他(1990)では、**desrabar**, **destrabar**, **enrabar**, **entrabar**, **fotograbar**, **grabar**, **trabar**, **trastrabar**の8動詞のみで、不規則動詞はゼロ。つまり、規則動詞率は100%である。これは、**rabar**の行の左端の数字100で示されている。

形を取り出す。規則動詞は不規則動詞よりはるかに多い¹¹ので、語根母音変化動詞の調査では異なり動詞数5以上の語末形を対象としたが、ここでは、対象とした8,291動詞のうち7,235個が規則動詞であることから、その0.1%である8個を基準値と考え、逆算して4文字語末形は16個以上、5文字語末形は32個以上の異なり動詞を持つ語末形を取り出してみる。異なり動詞数がそれだけ多ければ、その分文字数が多くても学習価値が高いと考えた。

3.1 規則動詞率100%の語末形

規則動詞率が100%の語末形は以下の通り。()内は異なり動詞数：

- (1) 3文字語末形：ear (1,136), far (37), ger (14), har (186), mar (211), mer (11), oar (11), pir (9), yar (30)。
- (2) 4文字語末形 (異なり動詞数16個以上)：abar (21), mbar (20), acar (28), ecar (23), icar (211), ncar (43), scar (64), edar (22), idar (32), udar (41), agar (39), igar (51), rgar (29), biar (16), ajar (54), ejar (54), ojar (33), ujar (34), alar (66), anar (76), enar (62), apar (27), ipar (20), mpar (19), arar (46), erar (107), grar (24), urar (74), asar (40), isar (31), lsar (16), usar (17), atar (69), ctar (32), otar (65), utar (34), avar (20), ivar (24), rvar (18), azar (50), ozar (22), uzar (23), an~ar¹³ (34)。
- (3) 5文字語末形 (異なり動詞数32個以上)：nciar (39), allar (44), illar (128), minar (43), ionar (98), arrar (32), antar (47), lizar (141), nizar (70), rizar (94), tizar (63)。

語末形 har は、低頻度動詞 desavahar, desvahar を除けば、すべて char である。ajar, ejar, ojar, ujar に代表される語末形 jar は、2重母音 ai が分

11 宮本 (2010 : 7) では規則動詞は約87.26%。RAE (2009 : 4.6d) では88.85%。

12 例えば、5文字語末形 fcar 122個もあるが、4文字語末形 icar を取り上げたので、さらに(3)で取り上げることはしない。

13 n~を含むので4文字と考える。

立する *ahijar*, *prohijar*¹⁴ (入門・初級者には学習不要と思われる動詞) を除けば, 規則動詞率は100%になる。*lizar*, *nizar*, *rizar*, *tizar* に代表される *izar* も, その例外は *arcaizar*, *enraizar*, *europaizar*¹⁵ (いずれも入門・初級者に必要な動詞ではない) を除けば, 規則動詞率は100%になる。

3.2 規則動詞率100%未満95%以上の語末形

規則動詞率が100%未満95%以上の3文字語末形を取り上げてみる。()内は規則動詞率と異なり動詞数:

car (97%, 483), *jar* (99%, 210), *nar* (96%, 639) *par* (99%, 124), *sar* (95%, 199), *var* (96%, 90), *zar* (97%, 582) *n~ar*¹⁶ (97%, 100)。

入門・初級者にとって必要な例外動詞, つまり, 不規則動詞があるかどうか検討してみよう:

car の主な例外は *volcar* だが, 入門・初級者にとっては不要な動詞だろう。*jar* の例外は既に述べたように, *ahijar* と *prohijar* のみで, 不要と思われる動詞である。*nar* の主な例外は *aunar*, *descafeinar*, *governar*, *invernar*, *sonar* など。これらも必ずしも必要な動詞ではないだろう。*par* の例外は *aupar* のみ。しかも不必要な動詞である。*sar* の主な例外は *atravesar*, *confesar*, *pensar* など。*pensar* は必要な動詞である。*var* の主な例外は *nevar* と *renovar*。少なくとも *nevar* は必要である。*zar* の主な例外は *almorzar*, *comenzar*, *empezar*, *esforzar*, *forzar*, *tropezar* などである。*almorzar*, *comenzar*, *empezar* は入門・初級者にも必要だろう。*ñar* の主な例外は *soñar* のみだが, これは必要だろう。

3.3 入門・初級者のための規則動詞語末形の提案

以上の調査結果を踏まえて, 入門・初級者がスペイン語規則動詞を見分け

14 RAE (2009: 4.15) もそれぞれ2重母音分立動詞としている。

15 RAE (2009: 4.15) もそれぞれ2重母音分立動詞としている。

16 *n~*を含むので, 3文字と考える。

るために役立つ規則動詞語末形の提案を行う。それぞれの語末形の代表動詞を2つと、規則動詞率が100%未満の場合は学習上必要な例外も挙げる：

(1) 規則動詞率100%の3文字語末形

ear : desear, pasear

far : enchufar, triunfar

ger : coger, proteger

char : echar, escuchar

mar : amar, tomar

mer : comer, temer

oar : 入門・初級者に必要と思われる動詞はない。

pir : escupir, interrumpir

yar : apoyar, subrayar

(2) 規則動詞率100%未満95%以上の3文字語末形

car : buscar, tocar

jar : trabajar, viajar

nar : cenar, terminar

par : escapar, ocupar

sar : pasar, regresar ; 主な例外 : pensar

var : lavar, llevar ; 主な例外 : nevar

zar : realizar, utilizar ; 主な例外 : almorzar, comenzar, empezar

ñar : acompañar, enseñar ; 主な例外 soñar

(3) その他の語末形

規則動詞率100%の4文字・5文字語末形のうち、(1), (2)で取り上げなかったもの¹⁷：

17 語末の3文字目からのアルファベット順に並べている。

abar : acabar, grabar
mbar : derrumbar, tumbar
edar : heredar, quedar
idar : cuidar, olvidar
udar : ayudar, dudar
agar : pagar, tragar
igar : investigar, obligar
rgar : cargar, otorgar
biar : cambiar, rabiar
nciar : anunciar, pronunciar
alar : regalar, señalar
allar : callar, hallar
illar : chillar, pillar
arar : aclarar, parar
erar : considerar, esperar
grar : alegrar, lograr
arrar : agarrar, narrar
urar : durar, jurar
atar : matar, tratar
ctar : afectar, dictar
antar : cantar, levantar
otar : notar, votar
utar : disfrutar, ejecutar

それぞれ2動詞ずつ挙げたが、宮本（2010：12）で述べたように、接頭辞類が付加された動詞も規則動詞である点は強調されなければならない：
parar ⇒ comparar, preparar, reparar, separar

4 結 び

以上、入門・初級者が規則動詞だと判断するのに利用できる語末形を40個提示した。¹⁸ volver, mover, herir, corregir, freír が語根母音変化動詞なのは、olver, over, erir, egir, éir で終わる動詞がすべて語根母音変化動詞だからであるように、¹⁹ 例えば、tomar, coger, temer, apoyar, pasear が規則動詞なのは、mar, ger, mer, yar, ear で終わる動詞がすべて規則動詞だからだと覚えておくことは、入門・初級者が活用形を学習していくうえで有益だろう。また、初級者に活用形を指導する立場からは、tomar, coger, temer, apoyar, pasear が語根母音変化動詞でも不規則動詞でもないことを、語末形から説明することができるというメリットもある。

参考文献

- [1] 桑名一博, 出口厚実他 (1990): 『西和中辞典』, 小学館。
- [2] 宮本正美 (2010): 「入門・初級者のための語根母音変化動詞の見分け方」, 神戸外大論叢, 第61巻, 第7号, pp.7-26。
- [3] RAE (2009): Real Academia Española: *Nueva gramática de la lengua española*, 2 vols., Espasa.

18 2.2 で述べたように、本稿では異なり動詞頻度数5以上の語末形を対象としている。例えば、もし3以上を対象とすれば、jer, jir など規則動詞率100%の語末形は増えるが、その有用性は低すぎるだろう。

19 宮本 (2010) を参照。

Appendix 1

```
# y90225 : 「頻度数 単語列」形式の2つのファイルをマージして、比率を求める :
# 書式 : y90225 max file1 file2
# max は単語列の最大単語数
# 書式例 : awk -f prog/y90225 2 temp/xx24fk3 temp/xx24k3
# 出力 : file2 の単語列について、その入力順に出力する :
# 出力形式 : file2 の単語列 file2での頻度数 file1での頻度数 file2/(file1+file2)の頻度数の比率
# 使用例 : z10924.sh で使用
#####
```

```
BEGIN {max=ARGV[1]; ARGV[1]="";
file=ARGV[2]; ARGV[2]="";
while(getline <file>0) {
  ws=""
  for(i=2; i<=max+1; i++) {
    ws = ws " " $i
  }
  if(length(ws) > max_ws) {
    max_ws = length(ws)
  }
  x[ws]=$1
}
}
{WS=""
for(i=2; i<=max+1; i++) {
  WS = WS " " $i
}
if(x[WS] != "") {
  printf("%10s%10s\t%10s\t%- " max_ws "s\n", $1, x[WS], 100*$1/($1+x[WS]), WS)
}
}
if(x[WS] == "") {
  printf("%10s%10s\t%10s\t%- " max_ws "s\n", $1, "---", 100, WS)
}
}
```


Appendix 2

```
# u80829 : 「数字 単語列」形式の2つのファイルからシソーラス風リストを作る :
# 書式 : u80829 dif file1 file2
# 注意 : フィールド数の多いファイル(file1)、少ないファイル(file2)の順に並べる。
#       dif は file1 と file2 のフィールド数の差 : 基本は 1。
# 書式例 : awk -f prog/u808296 1 temp/xx24_34a temp/xx24_3a
# 使用例 : z10924.sh で使用。
#####
```

```
BEGIN {dif=ARGV[1]; ARGV[1]=""}
file=ARGV[2]; ARGV[2]=""}
while(getline < file >0) {
    x[+n]=$0
}
}
{print
if(match($0, "[a-zA-Z]")) {
    seq=substr($0, RSTART)
    if(seq ~ "\\(")
        gsub("\\(", "\\(", seq)
    if(seq ~ "\\)")
        gsub("\\)", "\\)", seq)
}
for(i=1; i<=n; i++) {
    if(x[i] ~ seq) {
        for(k=2; k<=NF; k++) {
            m=0
            for(j=2; j<=split(x[i], y, " "); j++) {
                if($k == y[j]) {
                    m++
                    k=k+1
                }
            }
            if(m==split(x[i], y, " ")-1-dif)
                print x[i]
        }
    }
}
}
```